

無責任の危険性

神河町立神河中学校一年（当時学年）

足立 和香奈

私は日ごろみんなが何気なく使っているインターネットの問題について考えてみました。

まず、インターネットの良い所、悪い所です。良い所は、色々なことを調べることができたり、世界中の人たちと意見を出しあって共感できたりするなど数え切れないほどあります。さて、悪い所はどこでしょうか。悪い所としては、相手が傷つくような言葉を簡単に言えたり、書き込んだりできてしまうということです。でも、なぜそんなことができるのでしょうか。それは、相手の顔や気持ちが分からないので、「無責任」な行動をとってしまうからです。インターネットでは、自分の顔や本名がばれないようにニックネームなどを使います。すると、本名ではないので好き勝手に発言してしまいます。このようなことは、社会でも問題として取り上げられています。

例えば最近、女子プロレスラーがSNSによる誹謗中傷の被害を受け、自ら命をおとされました。これは人ごとではありません。インターネットの間違った使い方だで命が失われました。今でもSNSによるいじめで苦しんでいる人もいます。でもそれは、一人ひとりが自分を見つめなおすことによって減っていくと思います。相手がどんな気持ちになるのか、どんな気持ちでいたいのかをしっかりと考えてから発言や行動をしてほしいなと思いました。

他にもLINEによるいじめもあります。LINEもとても便利です。わから

ないことを聞き合ったり、ひまつぶしに使ってみたり。でも、「死ね」や「キモイ」、「どっか行け」などの言葉を入れることによって世界がどんどん変わって行ってしまいます。さて、このような言葉をLINEで送信する人たちは、相手が自分の目の前にいたら同じような言葉を言えるのでしょうか。おそらく、言えないと思います。LINEでは、相手が目の前にいないし、相手の気持ちが分からないからです。相手の気持ちを考えることはとても大切なことだと思います。

本来インターネットは、一人ひとりが楽しく便利に生活できるようにつくられたものです。でも、軽い気持ちで無責任な発言や行動をすることで、インターネットがあるべき姿ではなくなってしまう。それに一つ大切な命が危険にさらされることだってあります。相手の気持ちも考えたり、命の尊さをおかみしめたりしながら、インターネットと関わっていきたいと思います。



（発行）神河町人権文化推進協議会

二〇二〇年度 神河町人権文集「かみかわの子」第十五号より